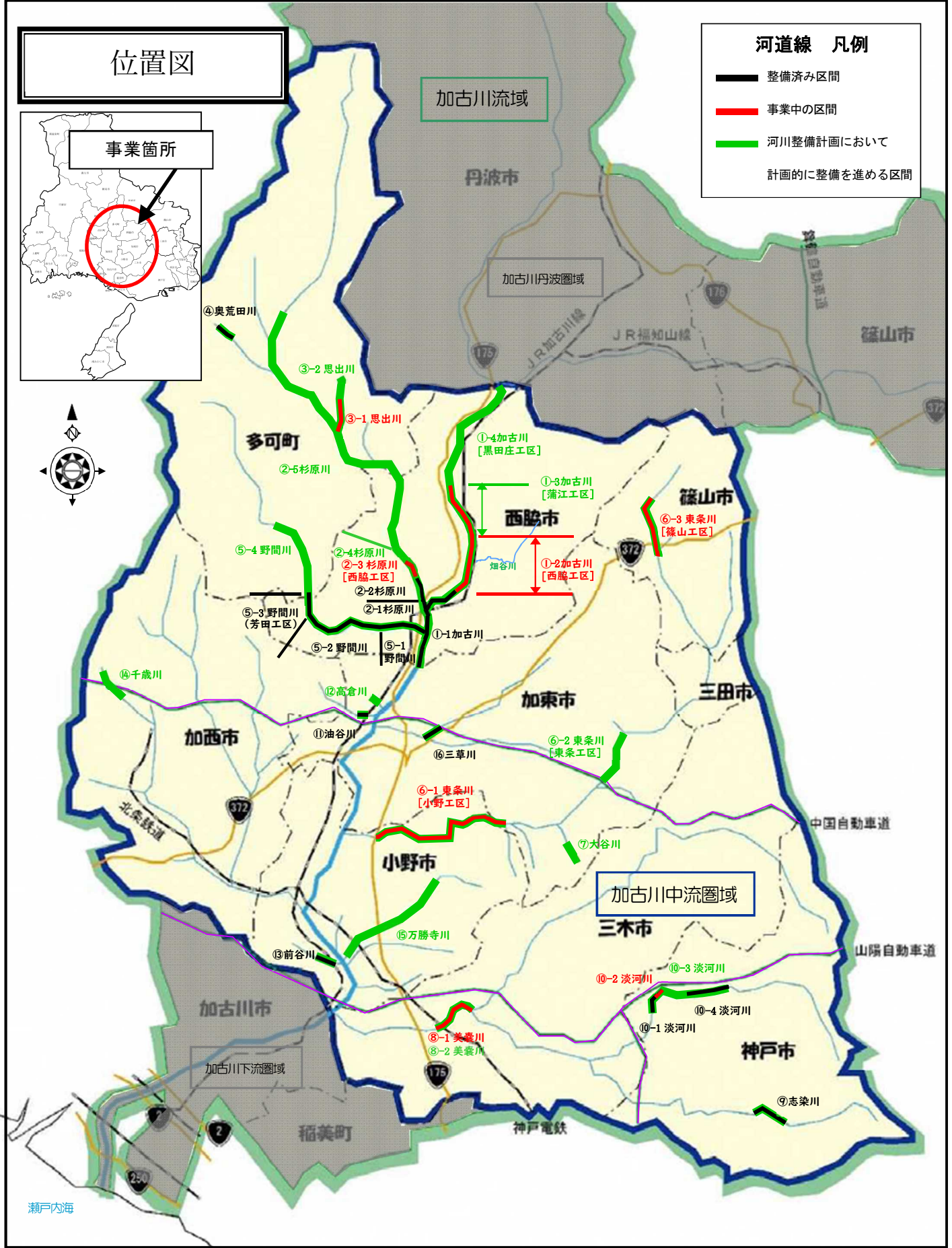


令和5年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第5回〕）

部課室名	土木部 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 八尾 昌彦 (河川・武庫川整備班主幹 矢尾 哲雄)	内線	4408 (4437)
事業種目	河川事業	水系名	加古川水系		
事業目的					
加古川水系加古川中流圏域において平成25年8月に策定した河川整備計画に基づき、洪水対策を実施することにより、治水安全度を向上させ地域住民の安心・安全を確保する。					
加古川水系加古川中流圏域河川整備計画における「計画的に整備を進める区間」					
本川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
	①-1 加古川 国管理区間上流端～中郷橋下流	4.0km	平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下	H22(2010) 災害・完了	事業評価 対象外
	①-2 加古川 [西脇工区] 中郷橋下流～福地川合流地点	3.1km	平成16年10月台風第23号及び昭和58年9月洪水(秋雨前線及び台風第10号)と同程度の洪水を安全に流下	事業中	H30(2018) 再評価
	①-3 加古川 [蒲江工区] 福地川合流地点～畑瀬橋上流	2.5km	昭和58年9月洪水(秋雨前線及び台風第10号)と同程度の洪水を安全に流下	未着手	R5(2023) 新規事業評価 公共審査対象外
	①-4 加古川 [黒田庄工区] 畑瀬橋上流～篠山川合流点	6.0km		未事業化	—
支川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
	②-1 杉原川 加古川合流点～和田谷川合流点	0.6km	平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下	H22(2010) 災害・完了	事業評価 対象外
	②-2 杉原川 和田谷川合流点～豊川橋下流	1.3km		H22(2010) 完了	—
	②-3 杉原川 [西脇工区] 豊川橋下流～和田井堰上流	0.7km		事業中	H30(2018) 再評価
	②-4 杉原川 和田井堰上流～郷瀬町	0.6km		未事業化	—
	②-5 杉原川 郷瀬町～熊野部井堰	16.4km		未事業化	
	③-1 思出川 杉原川合流点～支援学校下流	1.3km	平成23年9月台風第12号と同程度の洪水を安全に流下	事業中	事業評価 対象外
	③-2 思出川 支援学校下流～井堰	0.7km		未事業化	—
	④ 奥荒田川 北安橋～乳母川橋	0.3km		H25(2013) 完了	事業評価 対象外
	⑤-1 野間川 加古川合流点～平野橋	1.3km	平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下	H22(2010) 災害・完了	事業評価 対象外
	⑤-2 野間川 平野橋～芳田橋	5.1km		H25(2013) 完了	

⑤-3 野間川 [芳田工区] 芳田橋～落方井堰	1.3km	平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下	H28(2016) 完了	—
⑤-4 野間川 落方井堰～山口井堰	4.0km		未事業化	
⑥-1 東条川 [小野工区] 国土交通省管理区間上流端 ～大畑川合流点	8.9km		事業中	H30(2018) 再評価
⑥-2 東条川 [東条工区] 臨幸橋～鴨川合流点	2.6km		未事業化	—
⑥-3 東条川 [篠山工区] 神山川合流点～月江川合流点	1.9km		事業中	H30(2018) 再評価
⑦ 大谷川 第6橋梁～法定河川上流端	0.9km	昭和58年9月洪水(秋雨前線及び台風第10号)と同程度の洪水を安全に流下	未事業化	—
⑧-1 美囊川 城山橋～志染川合流点	2.5km	平成16年10月台風第23号と同程度の洪水に対し、被害を軽減	事業中	事業評価 対象外
⑧-2 美囊川 城山橋～志染川合流点	2.5km	平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下	未事業化	—
⑨ 志染川 幸座橋下流約200m ～箕谷川合流点	1.7km		H25(2013) 完了	事業評価 対象外
⑩-1 淡河川 万代橋～広瀬橋	0.5km		R03(2021) 完了	
⑩-2 淡河川 広瀬橋～僧尾川合流点	0.2km		事業中	
⑩-3 淡河川 歳田橋～井堰	0.2km		未事業化	—
⑩-4 淡河川 井堰～尼谷川合流点付近	0.7km	R04(2022) 完了	公共審査 対象外	
⑪ 油谷川 堀田橋～JR	0.1km	同上(加古川本川の整備に伴う支川の背水対策)	R05(2023) 完了	公共審査 対象外
⑫ 高倉川 境界橋～JR	0.1km		未事業化	—
⑬ 前谷川 知子谷橋～藪下川合流点	0.3km	昭和58年9月洪水(秋雨前線及び台風第10号)と同程度の洪水を安全に流下	H30(2018) 完了	事業評価 対象外
⑭ 千歳川 西上野橋上流約220m ～法河川上流端	2.2km	平成2年9月台風第19号と同程度の洪水を安全に流下	未事業化	—
⑮ 万勝寺川 大島川合流点～かりかわ橋	6.7km	昭和58年9月洪水(秋雨前線及び台風第10号)と同程度の洪水を安全に流下	未事業化	—
⑯ 三草川 水路橋付近～中国自動車道	0.1km		H26(2014) 完了	事業評価 対象外

# 加古川水系加古川中流圏域 河川整備計画 全体位置図



【加古川中流圏域】

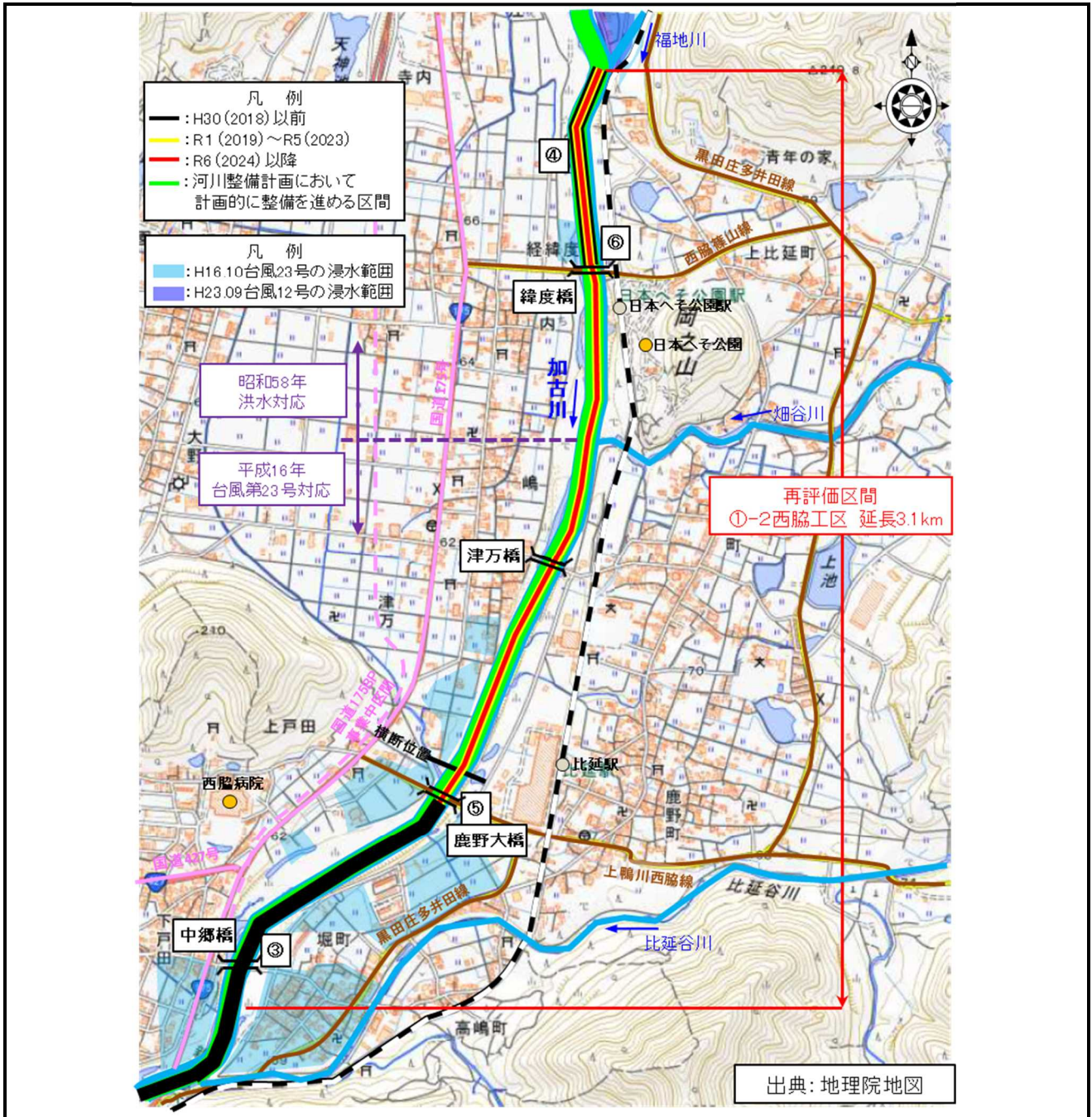
事業概要および進捗状況				今回評価内容 ( ) : 前回評価時点			
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成予定年度
①-2 加古川 [西脇工区]	中郷橋下流 ～福地川合流地点	河道改修3.1km 【負担割合】 国：50% 県：50%	事業費	52億円 (47億円)	37% (13%)	33億円 (41億円)	R15 (R10)
			内用補	0.1億円 (0.0億円)	0% (--%)	0.1億円 (0.0億円)	
②-3 杉原川 [西脇工区]	豊川橋下流 ～和田井堰上流	河道改修0.7km 井堰改築2基 【負担割合】 国：50% 県：50%	事業費	21億円 (9億円)	60% (22%)	8.5億円 (7億円)	R9 (R5)
			内用補	1.7億円 (0.0億円)	76% (--%)	0.4億円 (0.0億円)	
⑥-1 東条川 [小野工区]	国土交通省管理 区間上流端 ～大畑川合流点	河道改修8.9km 橋梁架替1橋 井堰改築2基 【負担割合】 国：50% 県：50%	事業費	48億円 (32億円)	23% (22%)	37億円 (25億円)	R23 (R10)
			内用補	2億円 (2億円)	20% (0%)	1.6億円 (2億円)	
⑥-3 東条川 [篠山工区]	神山川合流点 ～月江川合流点	河道改修1.9km 橋梁架替2橋 井堰改築2基 【負担割合】 国：50% 県：50%	事業費	16億円 (10億円)	48% (21%)	8.3億円 (7.9億円)	R15 (R10)
			内用補	0.4億円 (3億円)	75% (0%)	0.1億円 (3億円)	
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、河川改修に対する地元要望は強まっている。						
	<b>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</b> <b>【加古川】</b> (5億円増、5年延伸) ・労務単価の上昇に伴う増額 ・硬岩に対する追加検討及び施工効率の低下に伴う事業期間の延伸 <b>【杉原川】</b> (12億円増、4年延伸) ・労務単価等の上昇及び材料単価高騰に伴う増額 ・追加護岸整備に伴う事業期間の延伸 <b>【東条川(小野工区)】</b> (16億円増、13年延伸) ・労務単価等の上昇及び材料単価高騰に伴う増額 ・菅田橋の関係機関協議等に不測の期間を要したこと及び六ヶ井堰改築の実績を踏まえた小田井堰改築の工程の見直しによる延伸 <b>【東条川(篠山工区)】</b> (6億円増、5年延伸) ・労務単価等の上昇及び材料単価の高騰に伴う増額 ・地元協議による施工方法見直しに伴う事業期間の延伸						
進捗状況	<b>【加古川(西脇工区)】</b> ・早期の事業効果を発揮させるため、工区内の暫定掘削済。令和4(2022)年度までに鹿野大橋までの掘削が完了。 <b>【杉原川(西脇工区)】</b> ・令和4(2022)年度までに沖田井堰、和田井堰の改築が完了し令和5年6月に通水式を開催した。 <b>【東条川(小野工区)】</b> ・令和4(2022)年度までに菅田橋下流右岸の護岸整備が完了。 <b>【東条川(篠山工区)】</b> ・令和4(2022)年度までに本荘中橋の架替、本荘中橋下流の河床掘削および護岸整備が完了。						

【加古川中流圏域】

評価視点		評価結果の説明	
審査会意見及び対応方針 (H30年度再評価)		<b>【審査会意見】</b> (継続妥当) 河川事業は人命に直結する事業であることから、進捗管理をするなど、事業完了により早期に効果が発現するよう努められたい。	<b>【対応方針】</b> 地元住民等の関係者との調整を密に行い、円滑な事業遂行に努め、早期の事業完了を目指す。
(1) 必要性		①流域では昭和58年、平成16年、平成23年、平成30年などに発生した洪水により、甚大な浸水被害が発生している。 <b>【近年の主な浸水被害(加古川流域)】</b> ・昭和58年9月台風第10号〔床上浸水368戸、床下浸水1,666戸〕 ・平成16年10月台風第23号〔床上浸水430戸、床下浸水1,222戸〕 ・平成23年9月台風第12号〔床上浸水240戸、床下浸水866戸〕 ・平成30年7月豪雨〔床上浸水13戸、床下浸水34戸〕 ②事業区間には、築堤、護岸、河床掘削、井堰改築、橋梁架替が残っており、河川改修による浸水被害の防止、軽減が必要である。	
(2) 有効性 ・ 効率性  (事業執行環境)		①費用便益比：B/C = 2.3 (河川整備計画における全ての事業による費用便益比) ②河川整備基本方針は平成20年9月、河川整備計画は平成25年8月に策定済。 ③河川管理者(国、県)、関係市(西脇市、加東市)で構成する「加古川中流部河川整備推進協議会」を平成28年8月に設置(令和4年度は11月29日開催)し、河川整備の情報共有、目標及び実現に向け、連携・調整を図りながら事業を実施している。 ④地元から早期事業完了の要望がある。	
(3) 環境適合性		①滞筋の保全、復元や落差部分への魚道の設置など、多様な生物の生活環境への影響を最小限にとどめる。	
(4) 優先性		①当事業区間には人家連担区域や緊急輸送道路が含まれており、流下能力不足による浸水被害が想定されている。 ②当事業区間の進捗状況は、上流の未整備区間や加古川丹波圏域の進捗にも影響を与えるため、着実な事業進捗が求められる。	
の再 結 果 評 価	継続	左の理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。



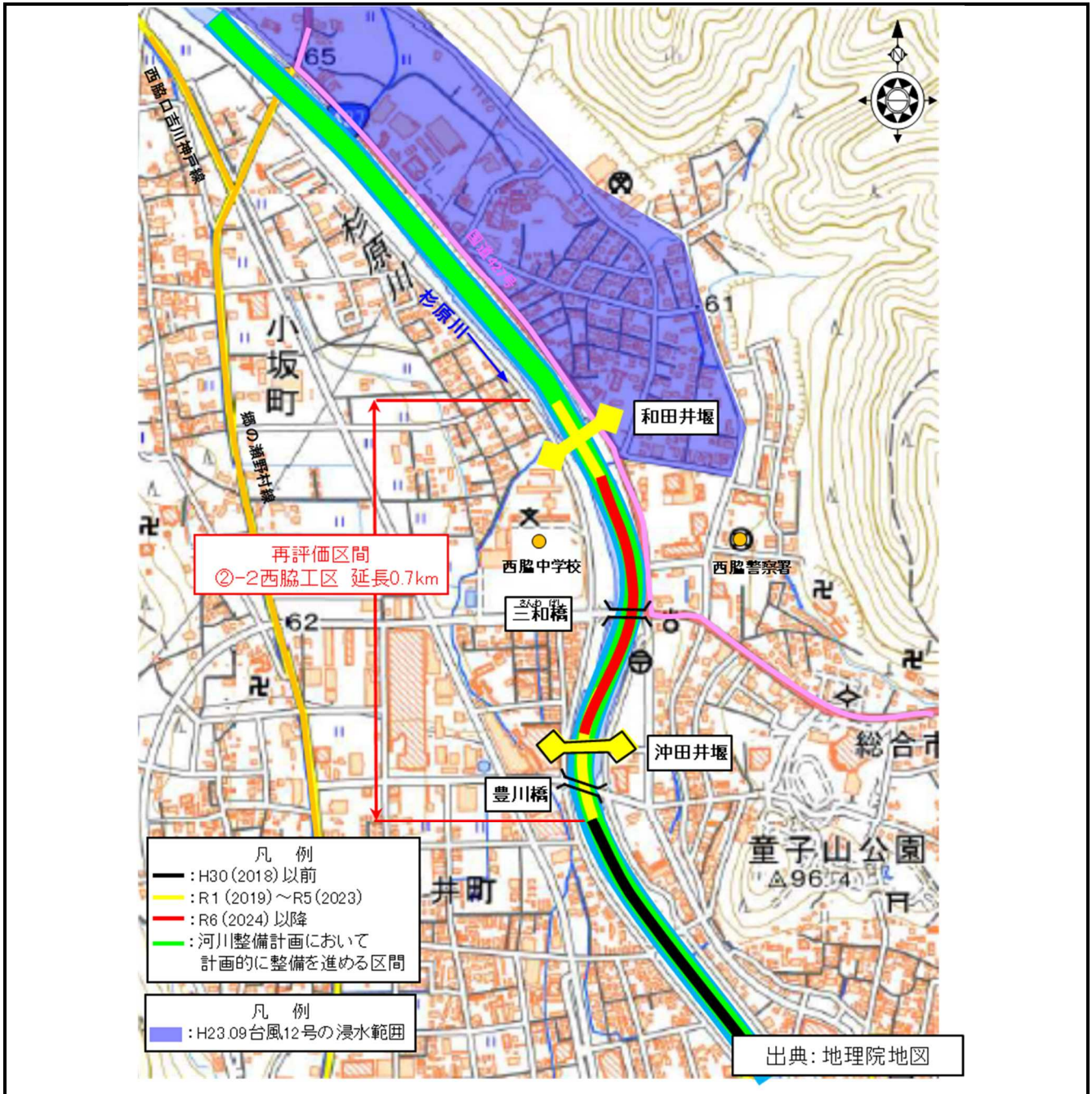
# 加古川水系加古川〔西脇工区〕 整備概要図



工区	河川整備計画全体	前回評価まで	前回評価から R5 (2023) まで	今後5年間 R6 (2024) ~ R10 (2028)	今後6~10年間 R11 (2029) ~ R15 (2033)
①-2 加古川 西脇工区	H25~R15 年度 <b>【事業費=52 億円】</b> ・整備延長：3.1km ・整備概要：河床掘削	H25~H30 年度 <b>【事業費=6.0 億円】</b> ・緯度橋から福地川合流点までの暫定河床掘削 L=0.6km が完了 ・中郷橋下流から鹿野大橋までの河床掘削が完了 流下能力の向上	R1~R5 年度 <b>【事業費=13 億円】</b> ・鹿野大橋から畑谷川合流点までの暫定河床掘削 ・畑谷川合流点から福地川合流点までの暫定河床掘削 流下能力の向上	R6~R10 年度 <b>【事業費=17 億円】</b> ・畑谷川合流点から福地川合流点までの河床掘削 流下能力の向上	R11~R15 年度 <b>【事業費=16.0 億円】</b> ・鹿野大橋から畑谷川合流点までの河床掘削 流下能力の向上



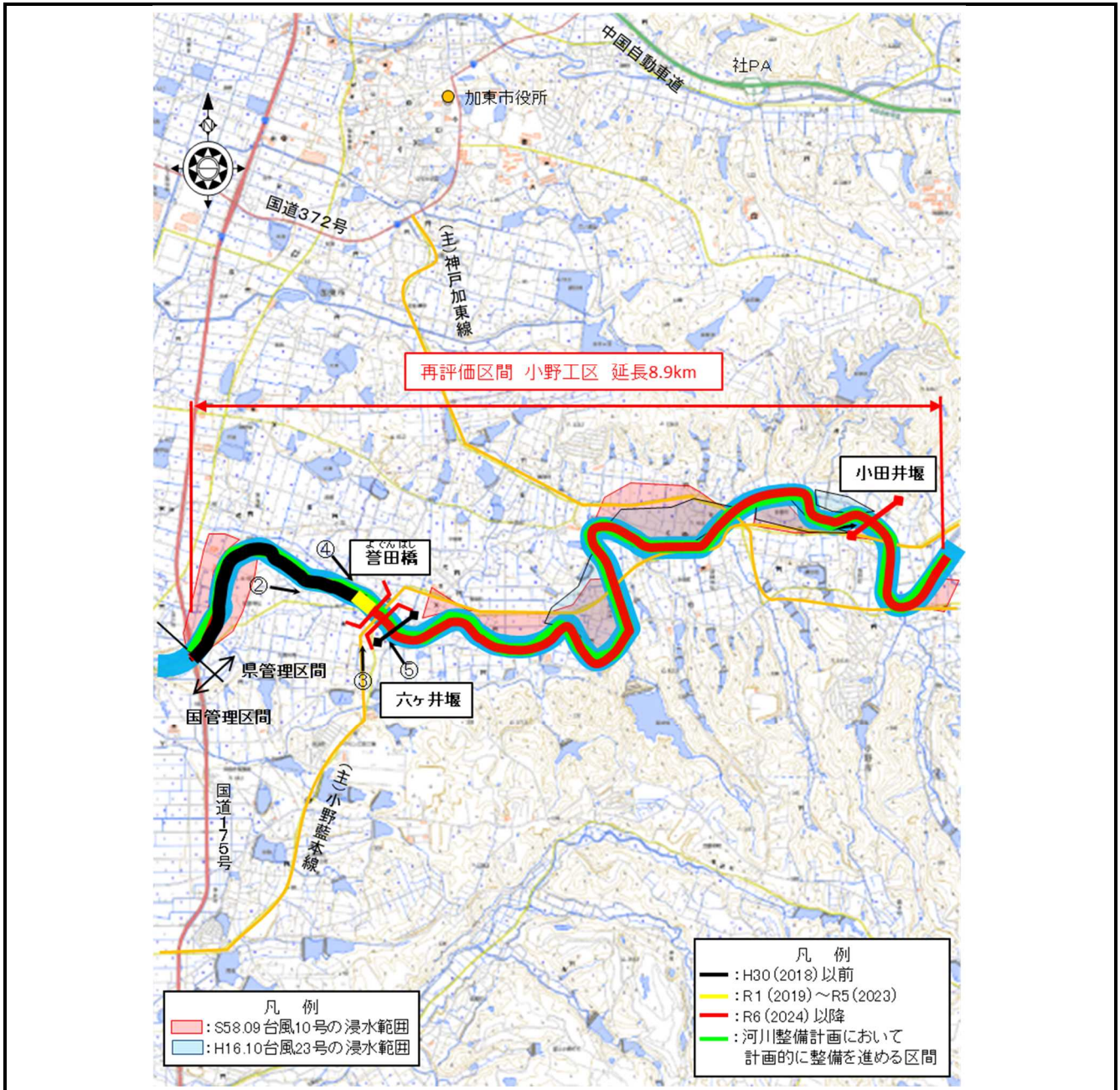
加古川水系杉原川〔西脇工区〕 整備概要図



工区	河川整備計画全体	前回評価まで	前回評価から R5(2023)まで	今後5年間 R6(2024) ~ R10(2028)	
②-2 杉原川 西脇工区	H25~R9 年度 【事業費=21 億円】 ・整備延長: 0.7km ・整備概要: 護岸、河 床掘削、井堰 2 基	H25~H30 年度 【事業費=0.5 億円】 ・井堰詳細設計 ・沖田井堰改築に着 手	R1~R5 年度 【事業費=12 億円】 ・沖田井堰、和田井堰 の改築 ・河床掘削	R6~R9 年度 【事業費=8.5 億円】 ・河床掘削、護岸	
		流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上	



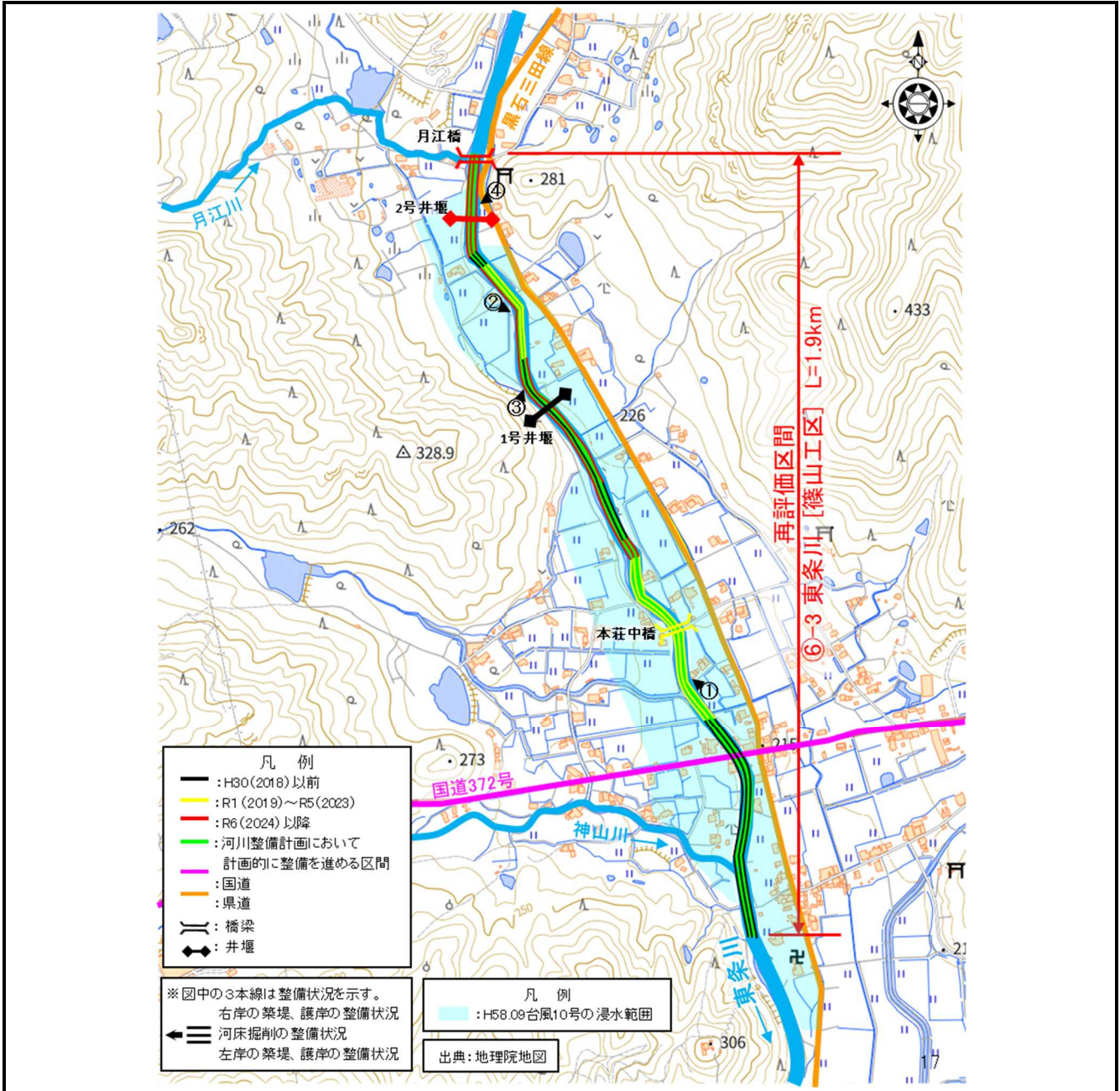
## 加古川水系東条川 [小野工区] 整備概要図



工区	河川整備計画全体	前回評価まで	前回評価から R5(2023)まで	今後5年間 R6(2024) ~ R10(2028)	今後6~18年間 R11(2029) ~ R23(2041)
⑥-1 東条川 小野工区	H25~R23年度 【事業費=48億円】 ・整備延長8.9km ・整備概要：築堤、 護岸、河床掘削、 橋梁1橋、井堰2基	S55~H30年度 【事業費=8億円】 ・築堤、護岸、 河床掘削、 六ヶ井堰	R1~R5年度 【事業費=3億円】 ・築堤、護岸、 河床掘削、菅田橋	R6~R10年度 【事業費=6億円】 ・菅田橋	R11~R23年度 【事業費=31億円】 ・築堤、護岸、 河床掘削、 小田井堰
		流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上



加古川水系東条川 [篠山工区] 整備概要図

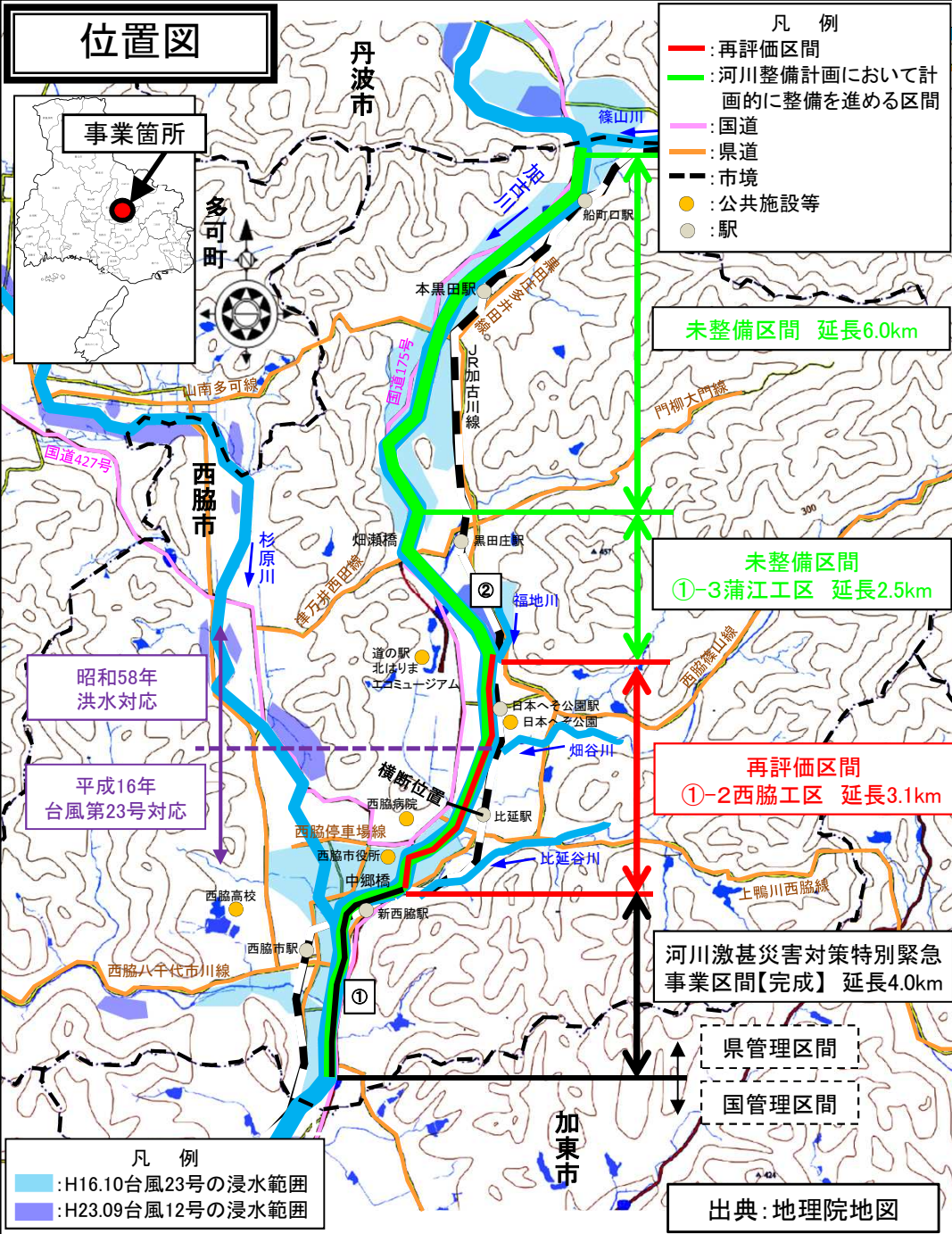


工区	河川整備計画全体	前回評価まで	前回評価から R5(2023)まで	今後5年間 R6(2024) ~ R10(2028)	今後6~10年間 R11(2029) ~ R15(2033)
⑥-3 東条川 篠山工区	H25~R15年度 【事業費=16億円】 ・整備延長: 1.9km ・整備概要: 築堤、護岸、河床掘削、橋梁2橋、井堰2基	H21~H30年度 【事業費=2.1億円】 ・築堤、護岸、河床掘削 ・井堰(1号井堰)	R1~R5年度 【事業費=5.6億円】 ・築堤、護岸、河床掘削 ・橋梁(本庄中橋)	R6~R10年度 【事業費=4.4億円】 ・築堤、護岸、河床掘削	R11~R15年度 【事業費=3.9億円】 ・築堤、護岸、河床掘削 ・橋梁(月江橋) ・井堰(2号井堰)
		流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上	流下能力の向上



# 河川事業 一級河川加古川水系加古川〔西脇工区〕 (継続:再評価〔第5回〕)

## 位置図



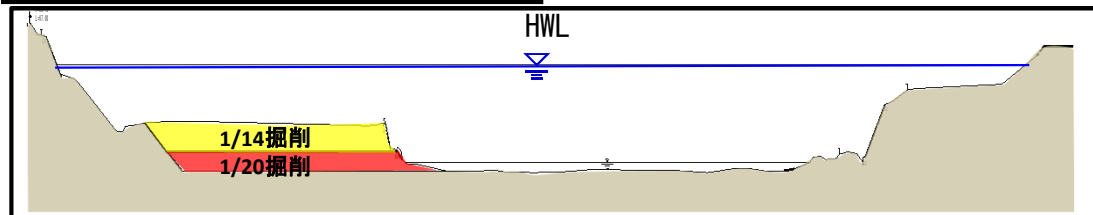
## 目的

加古川水系加古川中流圏域の河川整備計画(H25.8)に基づく治水安全度の向上(平成16年10月台風第23号及び昭和58年洪水と同程度の洪水を安全に流下させる)

## 事業概要

事業区間 : 比延谷川合流点～福地川合流点  
 総事業費:52億円  
 内用地補償費:0.1億円  
 事業期間:H25年(2013)～R15年(2033)  
 事業概要 : 河床掘削  
 延長 : 3.1km  
 費用便益比B/C:2.3(河川整備計画における全ての事業による費用便益比)

## 横断図(鹿野大橋上流)



## 浸水実績

①浸水実績(平成16年台風第23号)



②浸水実績(平成25年台風第18号)



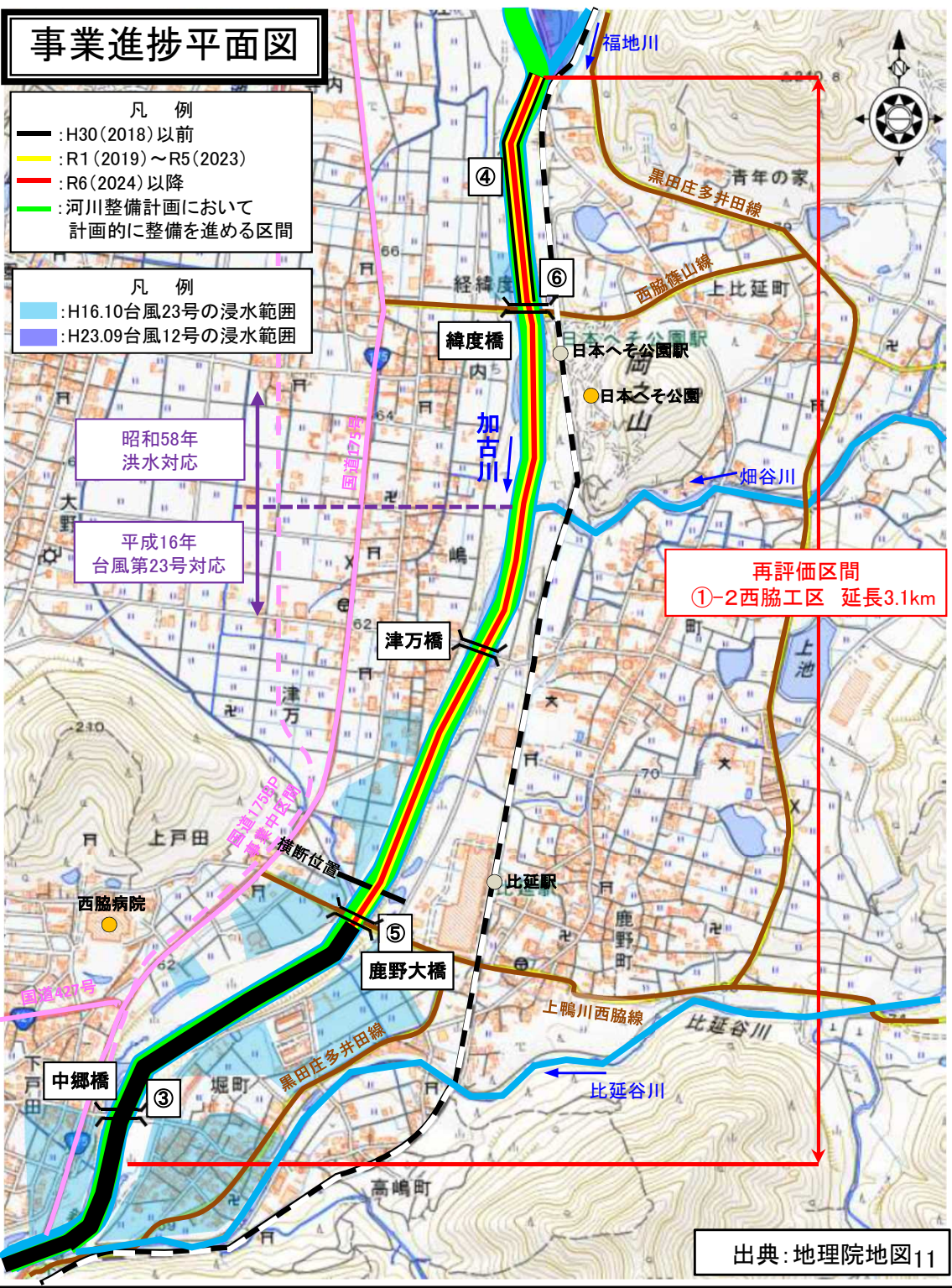
出典:地理院地図



# 事業進捗平面図

- 凡例
- : H30(2018)以前
  - : R1(2019)～R5(2023)
  - : R6(2024)以降
  - : 河川整備計画において計画的に整備を進める区間

- 凡例
- : H16.10台風23号の浸水範囲
  - : H23.09台風12号の浸水範囲



出典: 地理院地図11

# 現況写真

③完成区間(中郷橋上流)



④完成区間(緯度橋上流右岸)



⑤残事業区間(鹿野大橋上流左岸)



⑥残事業区間(緯度橋上流左岸)



# 工程表

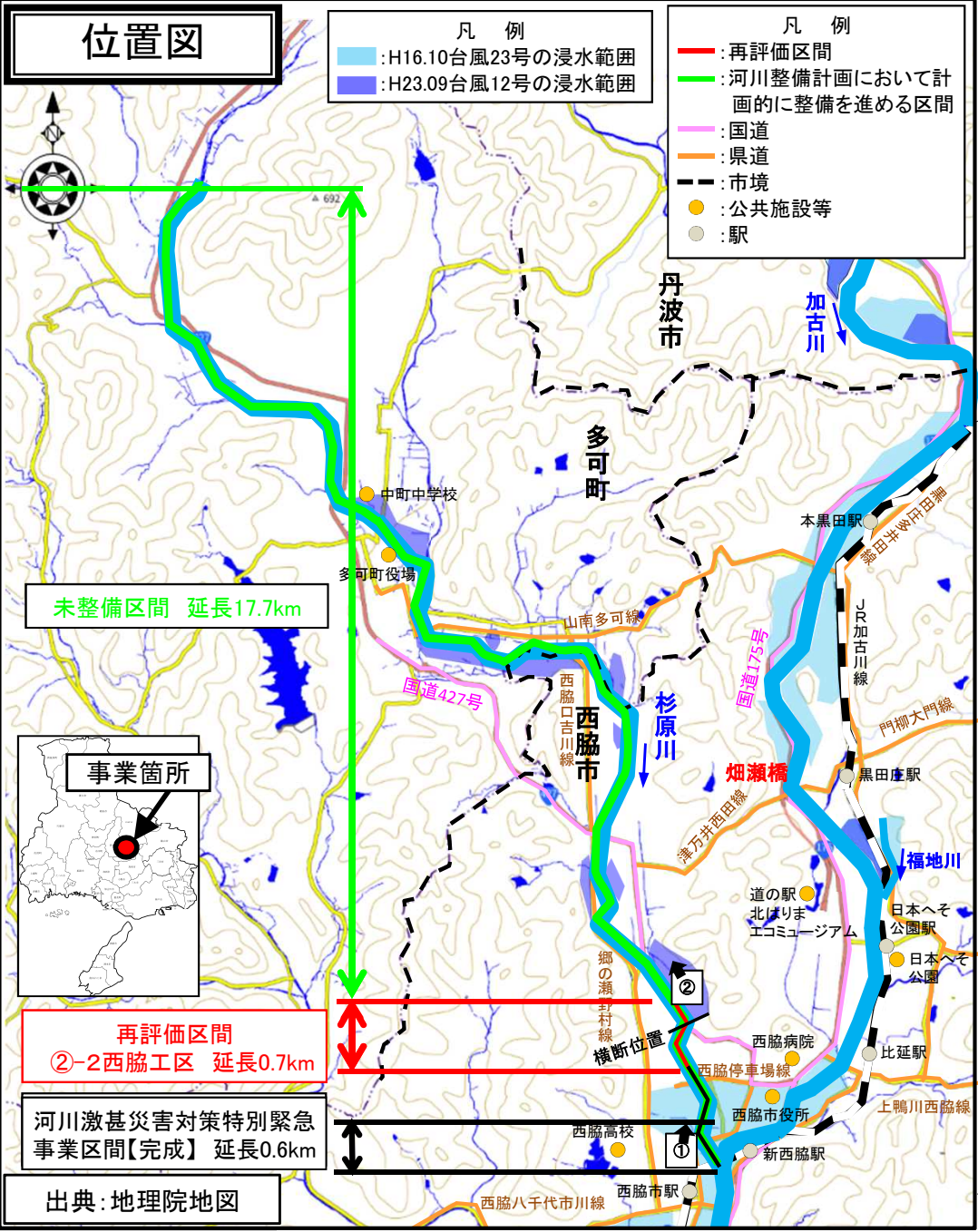
- : 前回計画
- : 実施・計画

種別	H29まで	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
掘削	■											■					
調査検討					■												
用地								■									



# 河川事業 一級河川加古川水系杉原川〔西脇工区〕（継続：再評価〔第5回〕）

## 位置図



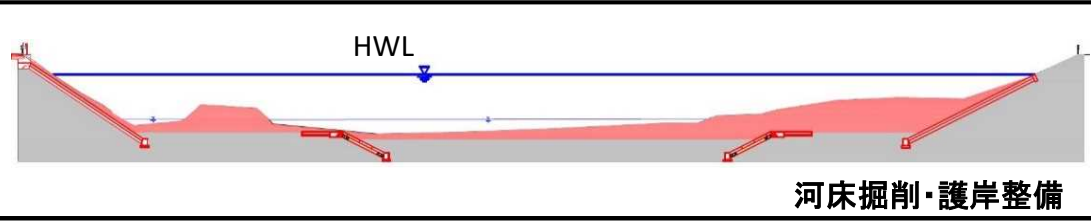
## 目的

加古川水系加古川中流圏域河川整備計画(H25.8)に基づく治水安全度の向上(平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下させる)

## 事業概要

事業区間 : 豊川橋下流～和田井堰上流  
 総事業費 : 21億円  
 内用地補償費 : 1.7億円  
 事業期間 : H25年(2013)～R9年(2027)  
 事業概要 : 河床掘削、護岸、井堰改築  
 延長 : 0.7km  
 費用便益比B/C : 2.3 (河川整備計画における全ての事業による費用便益比)

## 横断図(和田井堰下流)



## 浸水実績

①浸水実績(平成16年台風第23号)

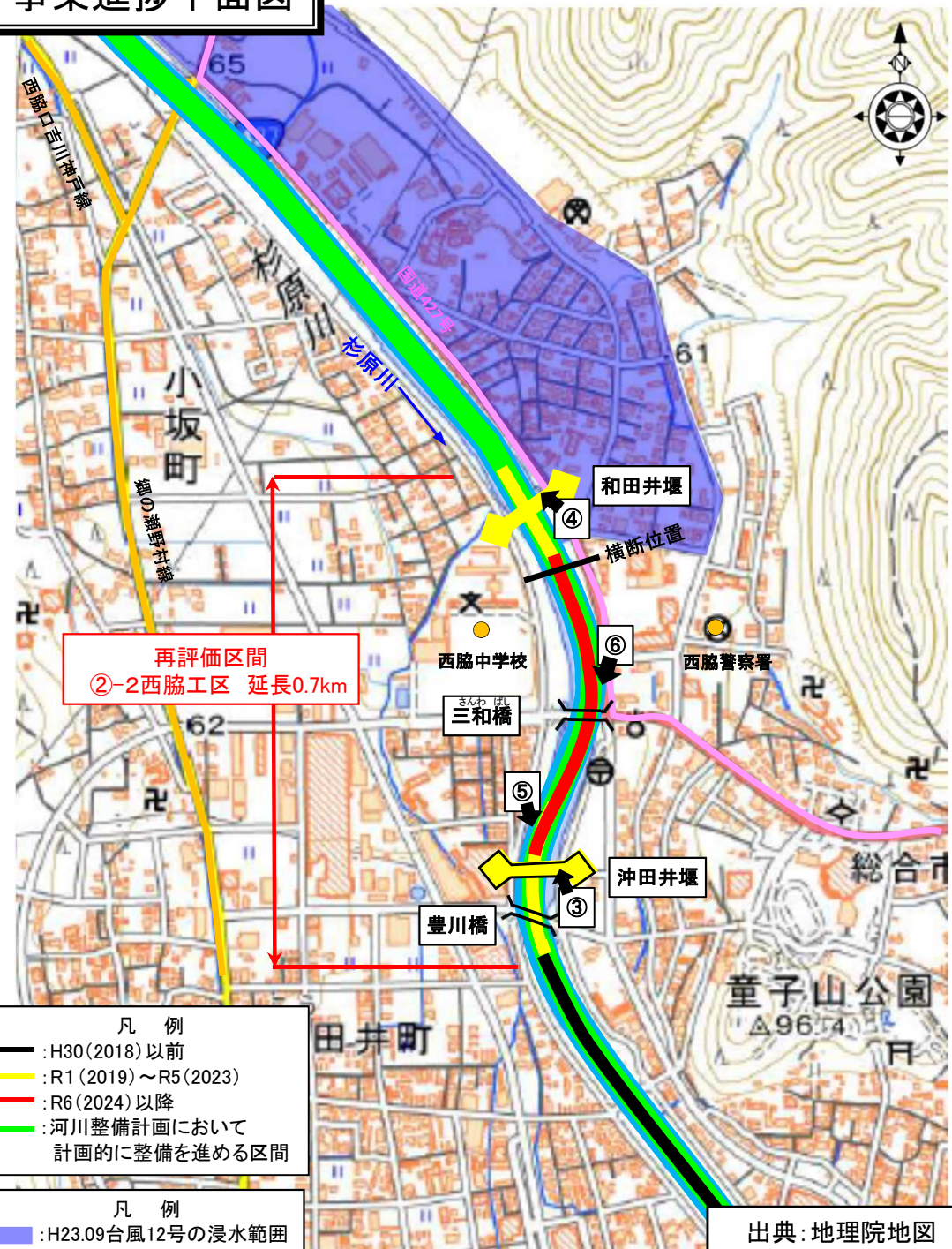


②浸水実績(平成23年台風第18号)





# 事業進捗平面図



再評価区間  
②-③西脇工区 延長0.7km

- 凡例
- : H30(2018)以前
  - : R1(2019)~R5(2023)
  - : R6(2024)以降
  - : 河川整備計画において計画的に整備を進める区間

- 凡例
- : H23.09台風12号の浸水範囲

出典:地理院地図

# 現況写真

③完成区間(沖田井堰)



④完成区間(和田井堰)



⑤残事業区間(沖田井堰上流)



⑥残事業区間(和田井堰下流)



# 工程表

— : 前回計画  
— : 実施・計画

種別	H29まで	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
掘削	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
沖田井堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和田井堰	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
護岸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



# 河川事業 一級河川加古川水系東条川〔小野工区〕（継続：再評価〔第5回〕）

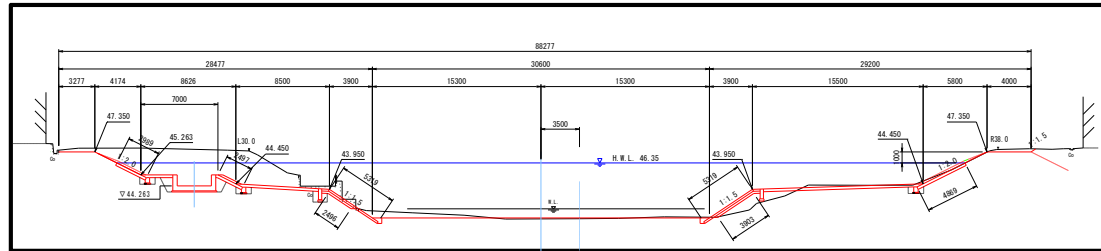
## 目的

河川整備計画に基づく治水安全度の向上（平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下させる）

## 事業概要

事業区間：国土交通省管理区間上流端から大畑川合流点  
 総事業費：48.0億円  
 内用地補償費：2億円  
 事業期間：H25年～R23年（2013～2041）  
 事業概要：築堤、護岸、河床掘削、橋梁、井堰  
 延長：8.9km  
 費用便益比B/C：2.3（河川整備計画における全ての事業による費用便益比）

## 横断図（菅田橋上流）

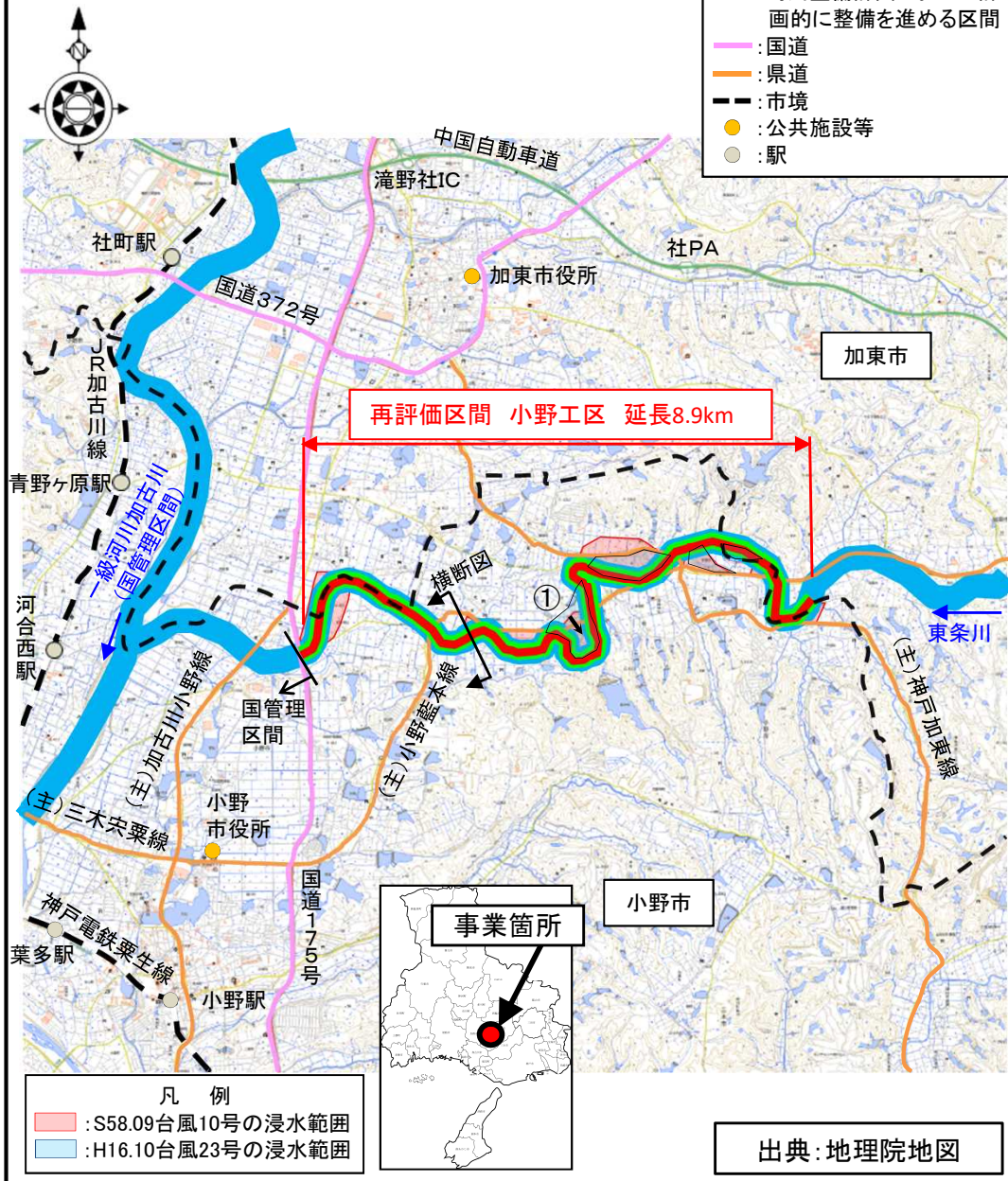


## 浸水実績

①浸水実績（昭和58年台風第10号）



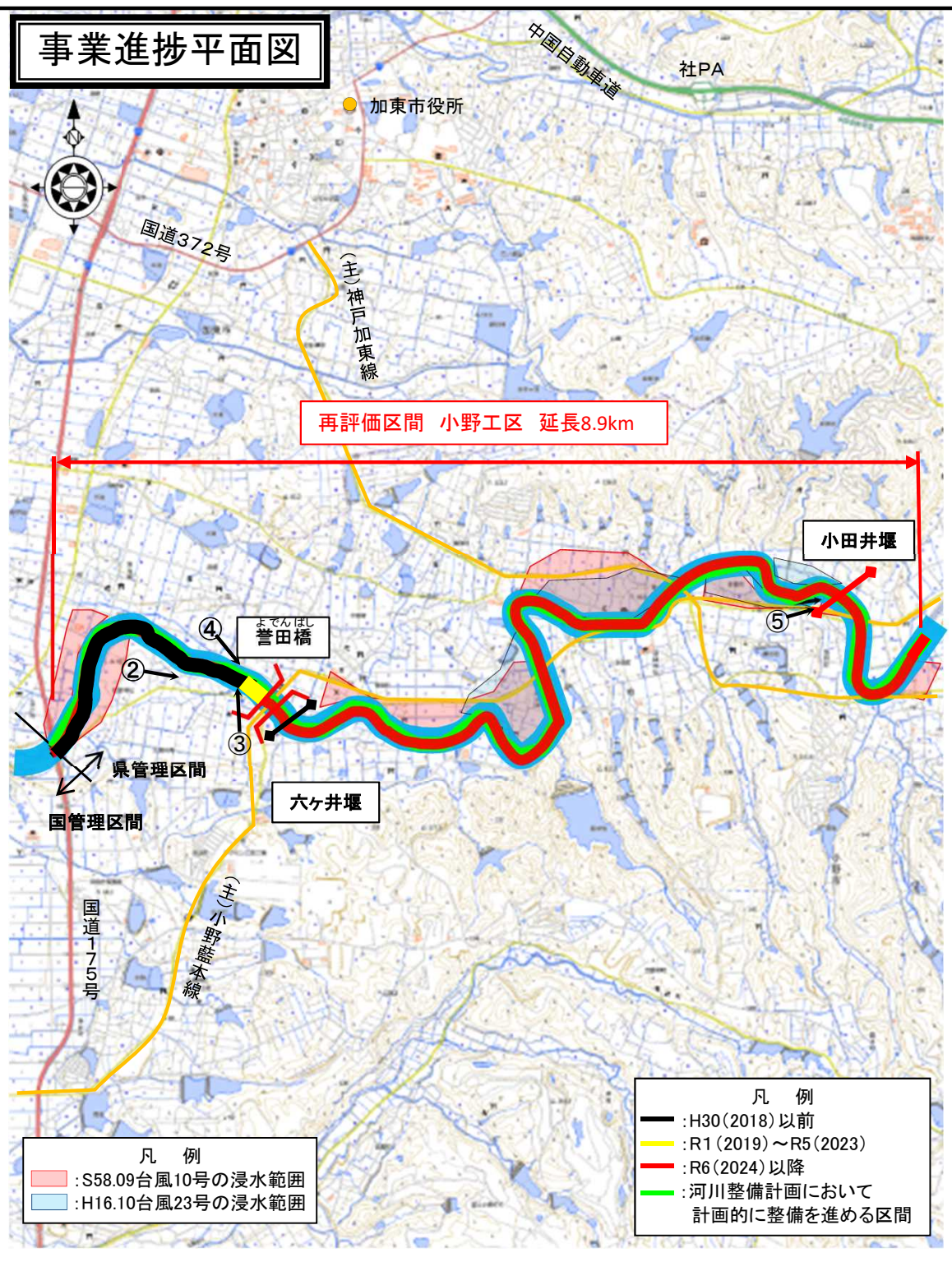
## 位置図



出典：地理院地図



# 事業進捗平面図



# 現況写真

②完成区間(菅田橋下流)



③完成区間(菅田橋下流)



④残事業区間

菅田橋(下流から上流を望む)



⑤残事業区間

井堰改築(小田井堰)



# 工程表

種別	H25迄	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
用地補償																
掘削																
築堤・堤岸																
橋梁																
井堰																

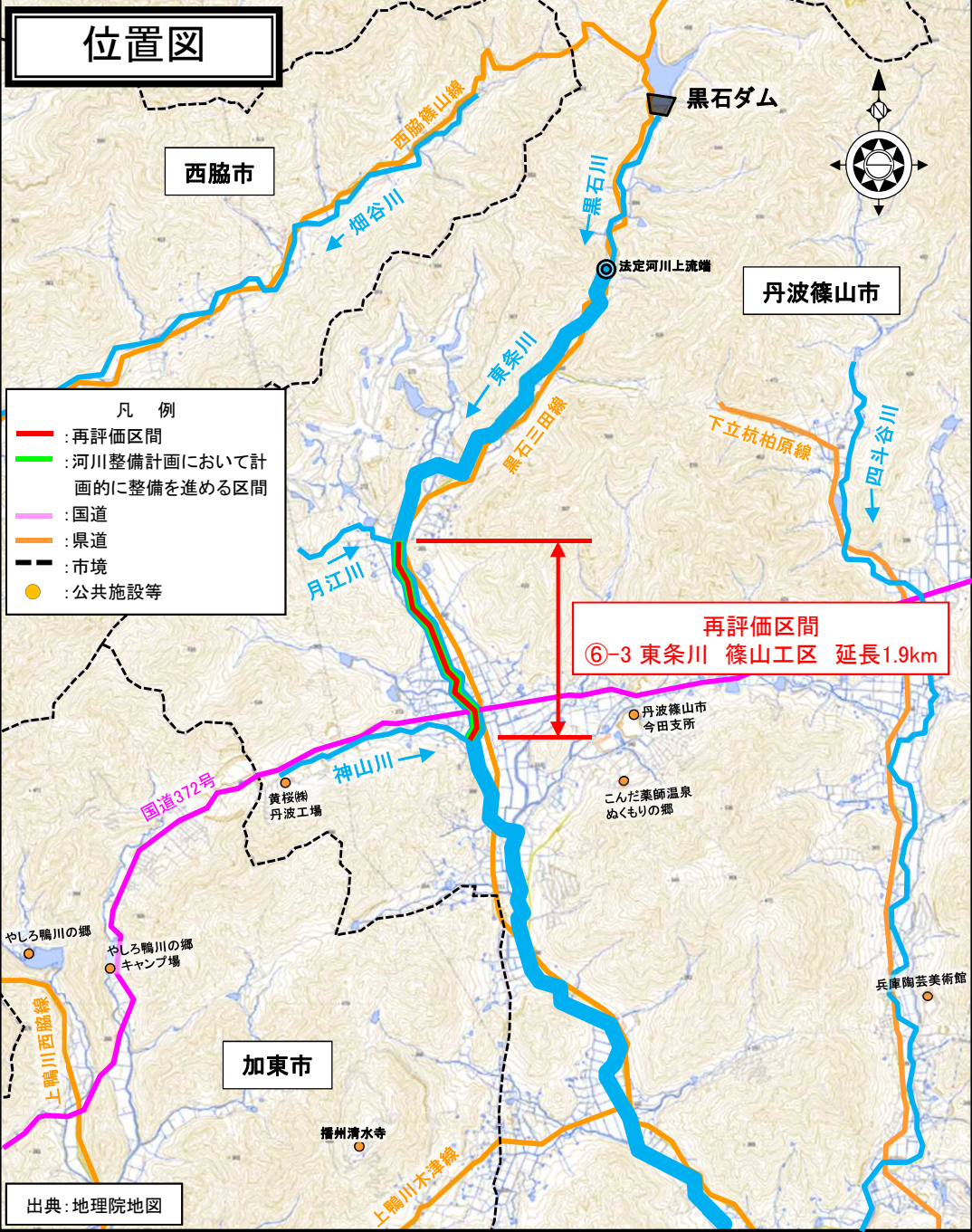
  

種別	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23
用地補償													
掘削													
築堤・堤岸													
橋梁													
井堰													

■ : 前回計画  
■ : 実施・計画



# 河川事業 一級河川加古川水系東条川[篠山工区] (継続:再評価[第5回])



### 目的

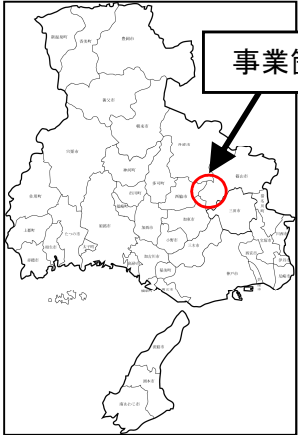
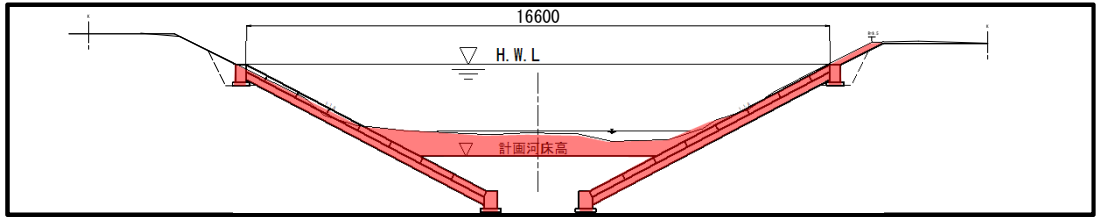
河川整備計画に基づく治水安全度の向上(平成16年10月台風第23号と同程度の洪水を安全に流下させる)

### 事業概要

事業区間 : 丹波篠山市今田町本荘(神山川合流点~月江川合流点)  
 総事業費:16億円  
 内用地補償費:0.4億円  
 事業期間:H21年(2009)~R15年(2033)  
 事業概要:築堤、掘削、護岸、橋梁、井堰  
 延長:1.9km  
 費用便益比B/C:2.3(河川整備計画における全ての事業による費用便益費)

### 横断図

本荘中橋~月江橋



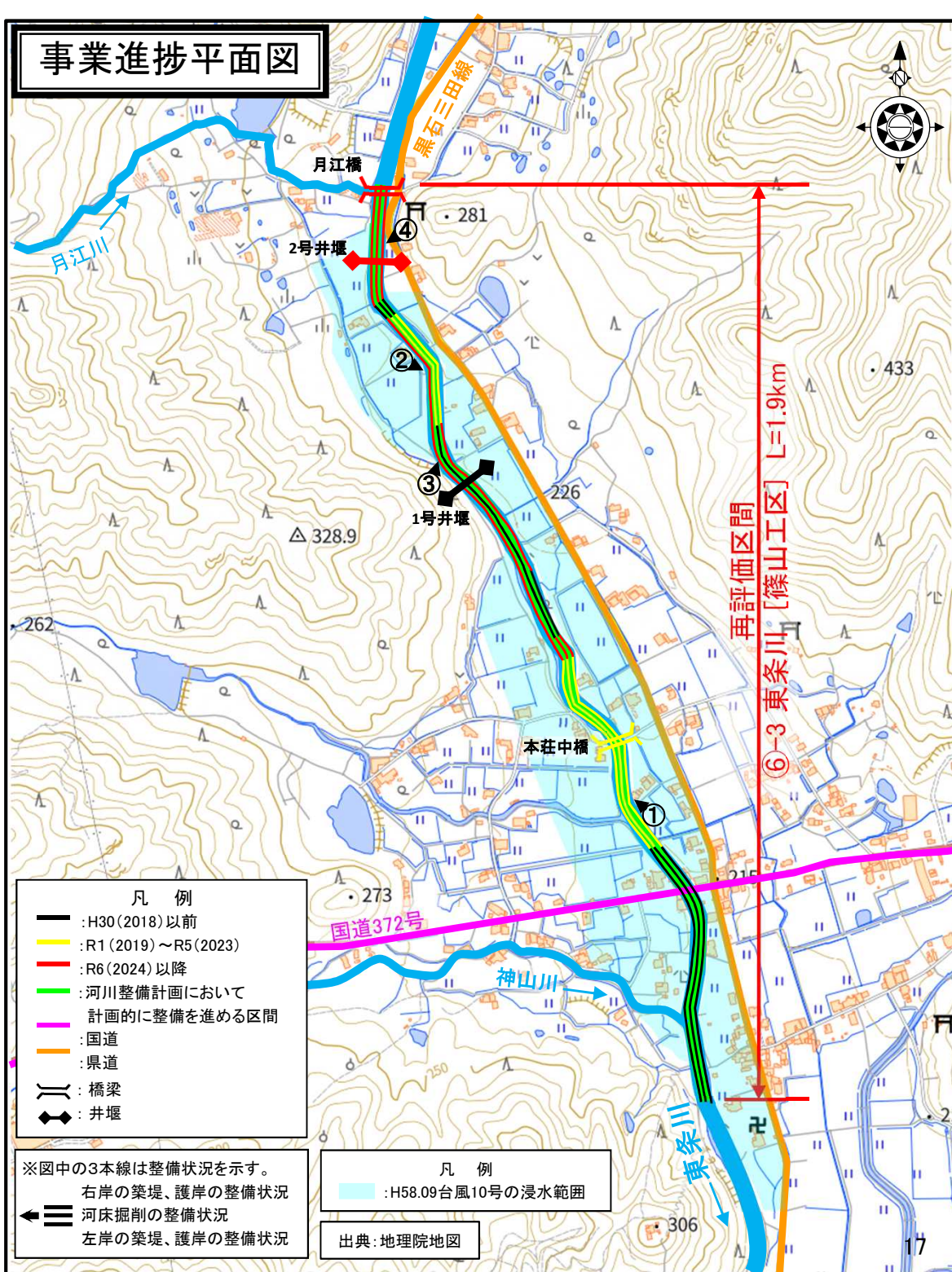
### 出水実績

出水実績(平成30年7月豪雨)





# 事業進捗平面図



# 現況写真

①完成区間 (本荘中橋下流)



②完成区間 (1号井堰上流左岸)



③残事業区間 (1号井堰上流)



④残事業区間 (月江橋下流)



# 工程表

■ : 前回計画  
■ : 実施・計画

種別	H29 まで	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
用地補償	■		■	■	■								■				
掘削	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
築堤・護岸	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
橋梁					■							■					■
井堰				■			■			■	■						

※図中の3本線は整備状況を示す。  
右岸の築堤、護岸の整備状況  
河床掘削の整備状況  
左岸の築堤、護岸の整備状況

凡例  
■ : H58.09台風10号の浸水範囲  
出典: 地理院地図



# 事業の有効性・効率性

## (1) 費用対効果

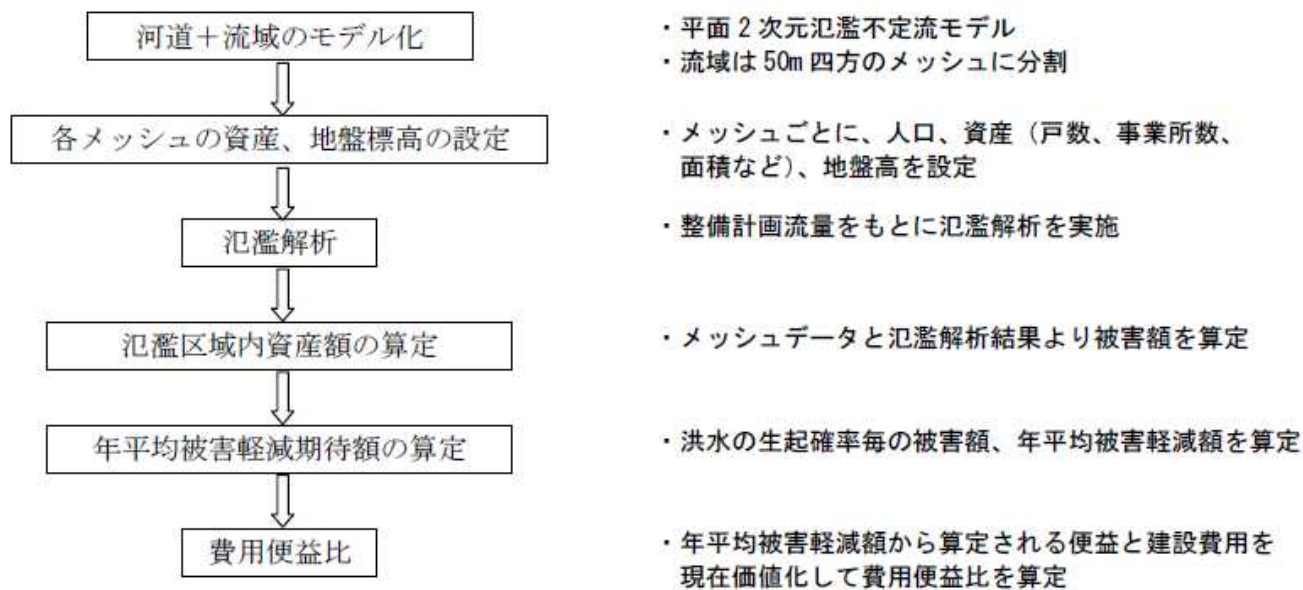
### ① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所償却資産、農業家償却資産等)</li> <li>・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用</li> </ul>

1) 便益 = 「治水事業を実施することによる被害軽減期待額」を現在価値化

$$\text{被害額} = \text{一般資産被害} + \text{農作物被害} + \text{公共土木施設等被害} + \text{営業停止被害} + \text{応急対策費用}$$

2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化



### ② 費用便益費(B/C)算出根拠

B(便益)		C(費用)			B/C
便益額	代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費	
100,525 (百万円)	計画規模の降雨に対して、 浸水世帯3,039世帯の解消 浸水面積1,343haの解消	42,886 (百万円)	37,406 (百万円)	5,480 (百万円)	2.3

※河川整備計画における全ての事業による費用便益比

## (2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等
社会経済活動等の安定	人的被害の軽減	○ ・浸水区域内人口7,155人を解消 ・災害時要救護者2,812人を解消 ・最大孤立者数3,708人を解消
	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の軽減	○ ・主要地方道西脇三田線(交通量7,621台/日)、 主要地方道西脇八千代市川線(交通量10,124台/日)、 主要地方道西脇停車場線(交通量12,077台/日)等の 延べ283,727台/日の交通途絶を解消 ・JR加古川線の交通途絶を解消(平均利用者数61,999人/日)
	医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減	○ ・医療施設7箇所の浸水被害を解消
	水害廃棄物の発生の軽減	○ ・水害廃棄物5,919t、処理費用166万円の解消
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出	○ ・護岸は環境配慮型のブロックを採用する ・瀬や淵を保全するなど、生物の生活環境への影響を最小限にとどめる
	親水空間の整備・景観への配慮	○ ・親水護岸や高水敷の整備を行うなど、親水空間に配慮する

## (3) 地域からの要望状況等

要望状況等	近年、平成30年7月豪雨など全国で記録的な降雨による災害が頻発しており、地域住民から河川改修による浸水被害軽減の要望は強くなっている。
-------	---

## 参考：事業の変遷

昭和16年：加古川改修着手	平成21年：河川整備計画策定中間報告
昭和19年：杉原川工区着手	平成23年：台風第12号(浸水家屋1,106戸)
昭和41年：野間川工区着手	平成25年：加古川水系中流圏域河川整備計画策定
昭和42年：加古川一級河川指定	策定報告(再評価第3回)
昭和57年：加古川水系工事実施基本計画策定	平成25年：台風第18号(浸水家屋167戸)
昭和58年：秋雨前線及び台風第10号(浸水家屋2,034戸)	平成28年：新規事業評価(淡谷川)
平成2年：台風第19号(浸水家屋3,171戸)	平成29年：新規事業評価(油谷川・高倉川)
平成3年：東条川(篠山工区)着手	平成30年：事業評価(再評価第4回)
平成9年：加古川改良工事全体計画認可	令和5年：事業評価(再評価第5回)
平成10年：事業評価(再評価第1回)	
平成15年：事業評価(再評価第2回)	
平成16年：台風第23号(浸水家屋1,652戸)	

※浸水家屋数は加古川水系加古川中流圏域河川整備計画による